

事業シート（概要説明書）

予算事業名	とやま移住魅力発信・強化事業	事業開始年度	令和5年度
上位施策事業名	「くらしたい国富山」創造ネットワーク事業費	担当局・部名	地方創生局
根拠法令等		担当課・係名	ワンチームとやま推進室
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	作成責任者	前川

実施の背景	<p><b>【背景】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総務省「住民基本台帳人口移動報告」によれば、昨年度(2022年1月1日～12月31日)の社会動態は、県内への転入者数が14,109名、県外への転出者数が15,384名となっており、1,275名の転出超過となった。前年度の1,855名の転出超過に比べ改善しているものの、減少傾向が続いている。</li> <li>コロナ禍を契機に地方移住への関心は高まっている。</li> </ul> <p><b>【事業概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移住検討者を対象に、「富山移住に関心を持ってもらう」ために各種イベント等を開催し、関心を持ってもらえた方に、富山移住に向け「具体的に行動してもらう」ための助成事業を実施している</li> </ul>
-------	--

目的 (何のために)	移住検討者に選ばれる県となるため、満足度の高いイベント開催や先進的な事業に取り組み、本県の魅力を効果的に伝え、移住促進を図りたい。
---------------	---

対象 (誰・何を対象に)	首都圏在住者のうち、地方移住に関心がある方 (NPO法人ふるさと回帰支援センター調べ)	対象者数（全住民に対する割合）		
		約160万	人	( 6.4 % )

実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施（直営）
	<input type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理（委託先又は指定管理者：）
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金〔 <u>直接</u> ・間接〕（補助先：「くらしたい国、富山」推進本部 実施主体：同左）
	<input type="checkbox"/> 貸付（貸付先：） <input type="checkbox"/> その他（）

事業概要	事業内容（箇条書き）	事業費		活動指標
	事業内容 (手段、手法など)	<p><b>【富山移住に関心を持ってもらう】</b></p> <p>①富山移住セミナーの開催 ・年間10回程度オンラインで開催（テーマ：立山、冬、交通事情、ソロ移住 等）</p> <p>②移住相談会の開催 ・年間2回東京交通会館でリアル開催 ・県内市町村や企業などが出展</p> <p>③市町村担当者研修会の開催 ・相談会イベント実施に向け、ミスマッチ防止に向けた研修会（模擬相談など）</p> <p>④VRの活用（R5新規事業） ・VRゴーグルを活用し、よりリアルな富山暮らし体験を提供 ・イベント会場や相談窓口で活用</p> <p>⑤その他 ・全国で開催される移住イベントへの出展等</p> <p><b>【主体的に行動してもらう】</b></p> <p>⑥移住検討者が本県を訪問する際の交通費・宿泊費助成 交通費の1/2（上限1万円） 宿泊費の1/2（上限5千円）</p>	5,240	千円
		12,000	千円	
		300	千円	
		6,594	千円	
		3,366	千円	
		2,500	千円	

関連事業 (同一目的事業等)	<p><b>【永く住み続けてもらう】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移住者交流会の開催、移住者受入に積極的な地域への支援 等</li> </ul>
-------------------	---

事業シート（概要説明書）

予算事業名		とやま移住魅力発信・強化事業								事業開始年度		令和5年度						
		2023 年度（予算）				2022 年度（決算）				2021 年度（決算）		2020 年度（決算）						
事業 コスト	事業費合計	30,000千円				24,046千円				14,849千円		18,365千円						
	事業費内訳 (2022年度分)	①富山移住セミナーの開催費(オンライン10回開催) 4,036千円 WEB・SNS広告費、ゲスト謝金、配信会場費等 ②大規模相談会イベントの開催費(リアル2回開催) 11,742千円 特設サイト作成、WEB・SNS広告費、会場費等 ③市町村担当者研修会の開催費(オンライン1回、リアル1回実施) 476千円 会場費、研修会委託費 ④その他 4,344千円 全国で開催された移住イベントへの出展費等 ((オンライン2回、リアル7回参加) ⑤移住検討者が本県を訪問する際の交通費・宿泊費助成 2,000千円 125件(交通費のみ77件、宿泊費のみ4件、交通費・宿泊費両方44件)																
	人件費	担当正職員	2.1	人	14853.3	千円	2.1	人	15493.8	千円	2.1	人	15330	千円	2.1	人	15279.6	千円
	臨時職員等	0	人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円		人	0	千円	
	人件費合計	2.1	人	14853.3	千円	2.1	人	15493.8	千円	2.1	人	15330	千円	2.1	人	15279.6	千円	
	総事業費	44853.3千円				39539.8千円				30179千円		33644.6千円						
	財源 内訳	国補助金	14500千円				23,046.0千円				7424千円		9182千円					
		国補助金の内容	デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）															
		地方債																
		その他の財源 (使用料、手数料など)																
その他の財源の内容																		
一般財源		31353.3千円				16493.8千円				22,755千円		24,463千円						
財源合計	45853.3千円				39539.8千円				30179千円		33644.6千円							

事業シート（概要説明書）

予算事業名		とやま移住魅力発信・強化事業			事業開始年度		令和5年度	
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度	
		移住セミナー参加者数		人	211/	144/	127/	
		県移住相談会来場者数 （2020、2021年度はオンラインで実施）		人	350/	270/	232/	
		交通費・宿泊費助成利用者数		人	125/	70/	44/	
	単位当たりコスト		総事業費	/				
事業成果	成果目標 （指標設定理由等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住に関する相談件数（2024年度 3000件）</li> <li>県外からの移住者数（2024年度 1000人）</li> </ul>						
	成果 （目標達成状況）	【成果指標名】（実績値/目標値）		単位	2022 年度	2021 年度	2020 年度	
		移住に関する相談件数		件	3406/3000	3309/3000	3377/3000	
		県・市町村の相談窓口を通した移住者数		人	892/1000	823/1000	764/1000	
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）		<p>&lt;自己評価&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県では、県及び市町村、関係団体などで組織する「くらしたい国、富山」推進本を中心に県を挙げて移住促進に積極的に取り組んできた。その結果、県・市町村の相談窓口を通した移住者数は、年々増加し続け、R4年度は県が統計を取り始めて以来、過去最高の892人となったところであり、これまでの市町村との連携による継続的な取り組みが一定の成果となって表れたものと考えている。</li> </ul> <p>&lt;課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度ふるさと回帰支援センターで自治体主催で開催された移住イベント開催件数は、過去最高の647件を記録しており、本県イベントが目立ちにくい状況にある。</li> <li>ふるさと回帰支援センターのイベント参加者や相談者の4割は移住先を決めていない漠然層であり、この層への認知度向上が課題。</li> </ul> <p>&lt;事業の方向性&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全国の自治体の競争が激化する中で、広報戦略はもとより、他県と差別化できるテーマ、企画内容の充実を図るなど戦略的かつ効率的な取り組みが必要。</li> </ul> <p>※ふるさと回帰支援センター：東京有楽町にある全国的な移住相談窓口で、多くの自治体が相談窓口を設置している</p>						
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）		<p>&lt;移住セミナー・相談会の開催&gt;</p> <p>全国の多くの自治体を実施している（オンライン・リアル・ハイブリッド） R4年度ふるさと回帰支援センターで開催された移住イベント：647回</p> <p>&lt;イベント会場や相談窓口でのVRの活用&gt;</p> <p>本県独自の取り組み（相談窓口への設置は本県のみ）</p> <p>&lt;移住検討者が本県を訪問する際の交通費・宿泊費助成&gt;</p> <p>全国で約20自治体で取り組まれている。</p> <p>近隣県の状況</p> <p>石川県：UIターン就業のための来県に係る交通費の10分の8を助成（上限2万円） 福井県：移住検討者を対象に定額助成（移住検討者の現住所によって金額を設定 例：石川県在住3,000円、東京都在住14,000円）</p>						
特記事項		<ul style="list-style-type: none"> <li>本県では、ウェルビーイングの向上により人材交流の活性化、人材の集積を図り、富山県成長戦略の取り組みを進め、「関係人口1000万人」を目指している。 （令和4年富山県関係人口推計値：約350万人）</li> <li>関係人口の創出・拡大を図るため、ワーケーションやテレワークの推進、デジタルコミュニティの活性化等の施策を別途推進している。</li> </ul>						

委託・指定管理・補助 対象団体シート（概要説明書）

予算事業名	とやま移住魅力発信・強化事業		事業開始年度	2007年度
団体名	「くらしたい国、富山」推進本部			
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算に基づく</li> <li>・「くらしたい国、富山」推進本部は、①移住推進に係る各種事業の実施、②移住相談窓口の設置を行っている。</li> <li>・県及び市町村、住宅や就労・就農の関係団体、移住経験者等で構成され、事業内容について協議するとともに、移住施策に対するアイデアを頂戴している。</li> <li>・大都市圏に設置している本県の移住相談窓口「富山くらし・しごと」支援センターには、富山でのくらし、就労・就農、住まいなど多種多様な移住相談が寄せられるが、「くらしたい国、富山」推進本部委員等と連携を図ることで、ワンストップでのきめ細かな相談対応が可能となっている。</li> </ul>			
当該事業の団体における収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	14,500 千円	事業費	30,000 千円
	県からの財政支出金	15,500 千円		千円
	市町村からの財政支出金	千円		千円
	委託料・指定管理料	千円		千円
	補助金	千円		千円
	その他	千円		千円
	その他 ( )	千円		千円
総計	30,000 千円	総計	30,000 千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	<p>大都市圏等から富山県への移住・交流を促進することにより、本県地域の活性化を図るため2007年7月に設置。構成メンバーは、本部長1名、副本部長1名、本部員13名、監事2名 計17名(事務局は県地方創生・移住交流課内)(構成員は、富山県知事・副知事、市町村を代表して2市町、まちづくり関係企業・団体から4名、就業支援関係企業・団体から2名、住宅業界から2名、有識者として3名、移住経験者2名)</p>									
	資本金	千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	県出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員						
団体全体の収支状況	収入		支出							
	国からの財政支出金	47,992 千円	事業費	102,765 千円						
	県からの財政支出金	52,668 千円	管理費	千円						
	市町村からの財政支出金	千円	人件費	千円						
	委託料・指定管理料	千円	その他 ( )	千円						
	補助金	千円	総計	102,765 千円						
	その他(負担金)	2,105 千円								
	その他 ( 預金利息等 )	千円								
総計	102,765 千円	収支差	千円							
特記事項										
財務諸表URL										

## 2022年度 富山移住セミナー実施結果

とやま暮らしに関心のある方を対象に、県や市町村の魅力などの良い面だけでなく、雪や車社会などの情報についてもしっかり伝えるもの

	名称	日程	その他
1	おうちでとやまさんぽ	5/28 (土)	申込 26名 参加 18名
2	地方でなりたい自分を実現する Eスポーツで地域を元気にする若者の富山での暮らし	6/26 (日)	申込 31名 参加 27名
3	ソロ地方移住	8/3 (水)	申込 65名 参加 41名
4	富山移住に車は必要? Yes or No	8/28 (日)	申込 28名 参加 20名
5	地域ともっともっと仲良くしたい方大集合	9/18 (日)	申込 18名 参加 13名
6	コミュニケーションが苦手でも地方移住ってできますか?	10/22 (土)	申込 23名 参加 16名
7	富山くらし・しごと相談会での開催 ① 富山暮らし SNS 発信の裏側 ② パークマンサー の富山生活 ③ 50代のための地方移住	11/20 (日)	—
8	普通の会社員の富山移住計画	12/18 (土)	申込 29名 参加 18名
9	冬の富山の暮らし方	1/28 (土)	申込 37名 参加 30名
10	ソロ地方移住 (第二弾)	2/19 (日)	申込 36名 参加 28名





## 2022年度 移住相談会実施結果

県内の市町村、関係団体、先輩移住者等が一堂に会し、暮らしの相談などを行い、移住検討者に、最も「自分に合う」地域探しをしてもらう相談会イベントの開催。

開催場所と開催時期：東京交通会館 7/23(土)、11/20(日)

結果概要：        7/23 (土)        来場者 154名    48ブース (11市町    企業 26社    他)  
                         11/20 (日)        来場者 201名    58ブース (11市町    企業 23社    他)

### ベストマッチ相談会の様子

